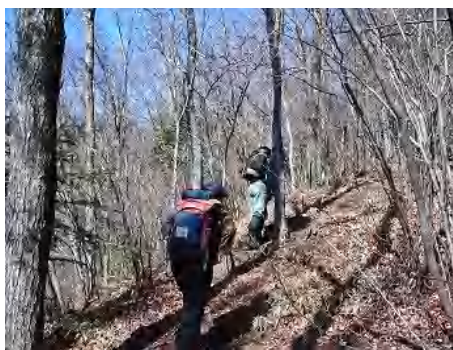
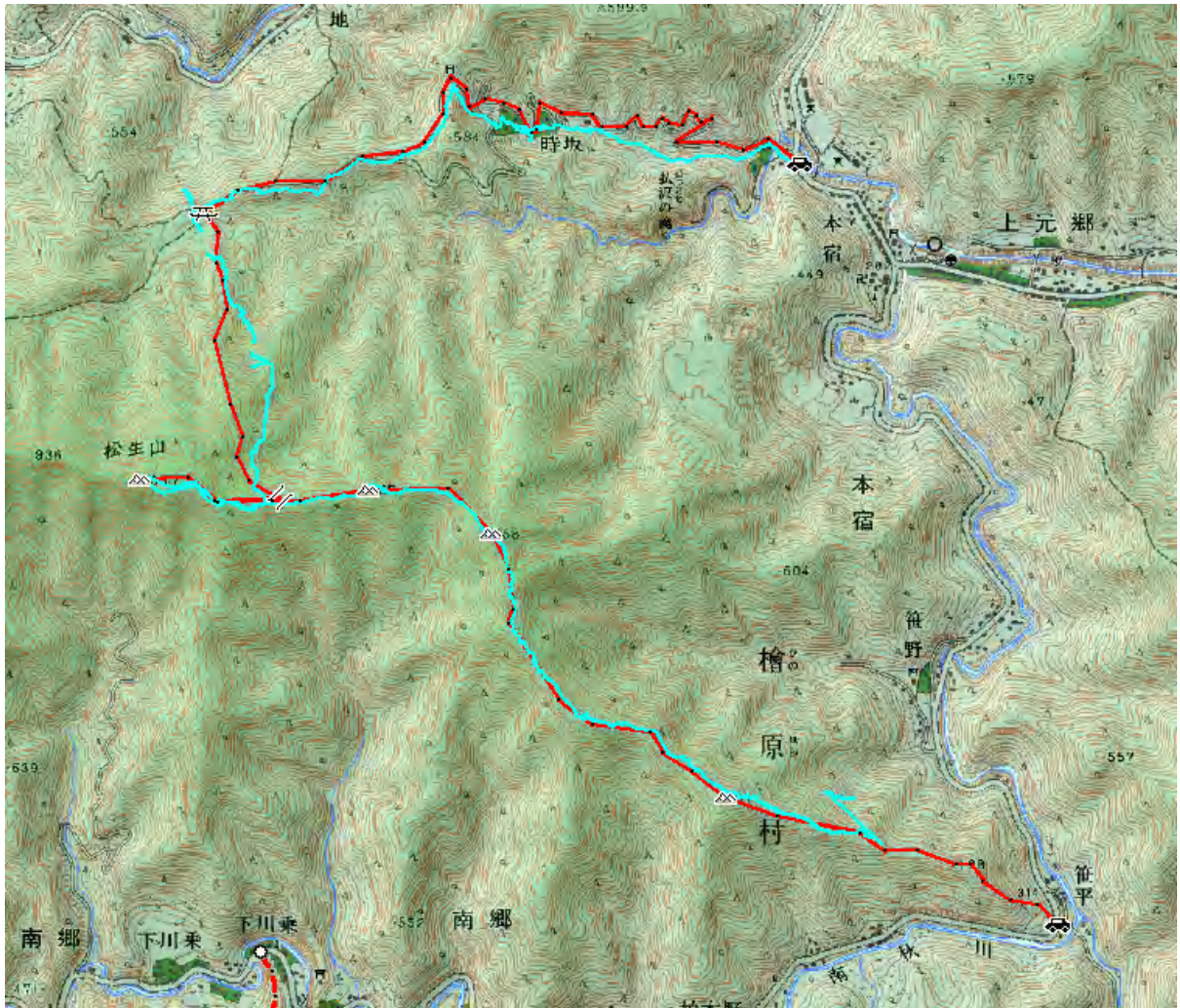


## 登山スクール実踏 ルート=笹平-松生山-時坂-払沢の滝入口

赤：予想ルート、青：GPSによる実踏ルート(最初は衛星を捕捉できず、笹平付近が抜けている)

松生峠の位置は、予想通り。そこから、巻き道が長く、尾根へ出たのは最後の最後。



左上：松生山山頂、右上：明るい雑木の登り、左下：下山口、右下：福寿草



## 2006年度 武岳連登山スクール実踏報告

日 程：2007. 2. 24 (土)

メンバ：Hさん、Sさん、和名倉山の住人(記)

コース：武蔵五日市-(バス)-笹平-498m-701m-弘沢の峰 858m-857m-松生峠-松生山(往復)  
松生峠-瀬戸沢一軒家-時坂峠の茶屋-弘沢の滝入口

タイム：登り2時間半、下り1時間半(松生峠から瀬戸沢までは40分)

結 論：登りは、最初が急登だが、途中からは良い道となり、スクールでも問題なさそう。松生峠からの下りは、廃道に近く、ルートファインディングも難しいので、スクールには不適。下山は、西進し浅間嶺の一般道を下るのが良い。

報 告：笹平でバスを下車。少し先に行った右手に、畑があり、この畑(タラの木)の真ん中を登る。1m程の石積みは、右手から巻いて登る。初めは急登で、道もはっきりしないが、やがて左手より明瞭な踏み跡が上がって来て、これを辿る。498mと530mには小ピークがあり、ちょっとした下りがある。

その先、701mまでは、登りが続き、そこから、歩き易い緩やかな尾根となり、770mを越えてから、再び登りとなる。858m手前の840mにも地図にも現れない小ピークがあり、右手(北東)へ緩やかな尾根が派生しているが、ここは左の鞍部へ下り、再び登り着いたピークが、858m弘沢の峰だ。ここから左に折れ867mを越えると、松生峠だが、登りでは、うっかり通り過ぎてしまった。ここから明るい雑木林の最後の登りで、松生山山頂に着いた。

山頂で少し休んでから、今来た道に戻り、峠を探す。かなり下った所に、「時坂」と書かれた道標(菱形の金属板)と、木にも「時坂」と書かれ、赤と白のテープが巻き付けてあった。ガイドブックには、「瀬戸沢一軒家を示す道標」となっていたが、実際は、時坂の表示だった。

踏み跡は、か細く廃道に近い。倒木なども多く、踏み跡を外さないように慎重に進む。標高800mの所で等高線が東に膨らんでいるが、この尾根にも木に白ペンキでマークがあり、踏み跡もありそうだが、こちらは、植林の作業道のような。登山道は、この尾根ではなく左手を巻くように下って行く。か細いが、途切れずに続いているので、これを辿る。その先の750mにも、北北東に明瞭な尾根が延びているが、これを下ると瀬戸沢を登り返さないと行けなくなりそうで、なおも左の巻き道を下って行く。

700m付近から急な尾根上に出て、後は、この尾根を下り、最後は左手に尾根を離れ、左に一軒家を見ながら、その下の防火の木の看板の所で、一般登山道に合流。すぐに沢を渡ると林道になる。峠の茶屋(蕎麦屋)を過ぎ、後は、所々車道をショートカットしながら、福寿草の咲く道を下って、弘沢の滝入口バス停へ下山した。